



**unesco**  
World Heritage site  
Jomon Prehistoric Sites  
in Northern Japan

世界へ発信！

vol.11

北の縄文だより



～みんなの知らない「JOMON World」～

社会教育課社会教育・文化財グループ (☎ 74-3010)

## 北海道・北東北の縄文遺跡構成資産を紹介

令和5年7月に「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、世界遺産登録2周年を迎えました。これを記念して北海道博物館では現在、特別展「北の縄文世界と国宝」が盛大に開催されており、洞爺湖町の入江・高砂貝塚からも50点以上を貸し出して展示しています。

縄文だよりでは、2周年を記念して「北海道・北東北の縄文遺跡群」の各構成資産を改めて紹介します。

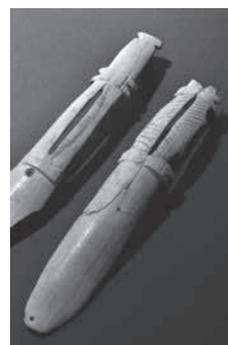
今回は、お隣、伊達市の「北黄金貝塚」です。



### 伊達市「北黄金貝塚」

国指定史跡である北黄金貝塚は、噴火湾を望む丘陵に位置する道内最大級の貝塚を伴う集落跡です。入江・高砂貝塚よりも古く、今から約6,000～5,000年前に作られました。貝塚からはハマグリやカキなどの貝殻のほか、マグロやオットセイの骨、ウニの殻などが出土しています。特にウニの殻は貝塚を掘ると20～30cmの厚さでびっしりと出てきたそうです。また、クジラの骨で作られた刀形やスプーン形の骨角器が見つかり、儀式

に使われたと考えられています。



### 水場の祭祀場

北黄金貝塚の最大の見どころは、やはり「水場遺構」でしょう。湧き水の近くから1,000点以上のすり石と石皿が見つかりました。すり石と石皿は、木の実や魚などをすりつぶすのに使った石器です。集められたすり石は、ほとんどが壊れており、石皿は裏返した状態で置かれていました。このことから、壊れたり使わなくなった道具、役目を終えた道具を寄せ集めて、供養したのではないかと考えられています。

北黄金貝塚では、この「水場遺構」を、発掘調査で見

つけたそのままの状態で見せています。おびただしい数のすり石や石皿が並ぶ姿は圧巻です。



### ルート37の世界遺産

洞爺湖町と伊達市は、共に世界遺産となった縄文遺跡が国道37号線沿いにある、ということで、「ルート37の世界遺産」として、連携して盛り上げていこうという取り組みを進めています。この機会に北黄金貝塚にもぜひ、行ってみてください！

### 「世界遺産でパシャッ！北海道・北東北の縄文遺跡群 縄文フォトコンテスト2023」開催中！

今年も「私の好きな縄文」をテーマに、縄文遺跡群で撮影した写真を募集します！受賞者には縄文グッズ詰め合わせなど豪華賞品をプレゼント！優秀作品は来年のオリジナルカレンダーになります。秋晴れを狙って、入江・高砂貝塚や北黄金貝塚の写真を撮りに行きませんか？

○応募締切 令和6年1月12日(金)

○応募方法 QRコードか専用URL

でアクセスしてください



<https://jomon-photo.jp>